KidsFam

キッズファム 通信

No.13
2023年6月発行

発行：一般財団法人 重い病気を持つ子どもと家族を支える財団（キッズファム財団）
Foundation for Severely Ill Children and Their Families

ご挨拶

一般財団法人 重い病気を持つ子どもと家族を支える財団
代表理事　細谷 亮太

六月になりました。いかがお過ごしでしょうか。

ようやく新型コロナ感染症の扱いが季節性インフルエンザ感染症並みの５類に変更されました。完全に終息したわけではありませんから、今後もある程度の注意が必要であることは言うまでもありません。

とはいうものの、コロナ前の私たちの生活が少しずつ戻ってくることは間違いありません。そのことについては素直に喜びたいと思っています。

春、都内にある女子だけの中高一貫校の校長をしている友人に頼まれて、そこの中学三年生にお話をしに行く機会がありました。新学期には高校一年生（その学校では四年生というらしい）になるその学年の生徒たちは入学時からのソーシャルディスタンスを卒業の日まで丸々三年守り続けた子どもたちです。

女性の教頭先生は「この時期の女の子に特有のべたべた引っ付いて過ごす時間がほとんど無かった三年間が、この生徒たちにどんな影響を残すのか」と少し心配顔でした。面白い視点だと思いました。

もともとは握手、ハグが日常の挨拶になっている欧米の人々の対人距離と比べたら日本人同士のその距離はかなり遠いものだったように思います。それが近年、日本でも国際規格が取り入れられ変化が見られるようになってきた矢先の新型コロナ感染症の蔓延でした。

逆戻りした人との距離がまたコロナ前の状態までもどるのにどれくらいの時間がかかるのか、じっくり観察してみたいと思います。

☆財団の主なイベントご紹介

■キッズファム財団スペシャルイベント

3月21日（火・祝）、埼玉県越谷市にある、Lake Town OUTLET（レイクタウン　アウトレット）「空の広場」にて、財団主催のスペシャルイベントを行いました。

❶小児感染症専門家によるスペシャルトークショー❷医師・看護師によるミニコンサート❸ケアリングクラウンによるパフォーマンスをお届けしました。

スペシャルトークショーでは、当財団理事の余谷暢之医師（国立成育医療研究センター総合診察部緩和ケア科 診察部長）が進行役で、古市美穂子医師（埼玉県立小児医療センター感染免疫・アレルギー科 医長）と庄司健介医師（国立成育医療研究センター小児内科系専門診察部感染症科 医長）に「こどもの新型コロナウイルス」と「こどものインフルエンザ」についてそれぞれ資料を配布して貴重なお話をいただきました。新型コロナウイルスを取り巻く環境が変わっていく今、こどもの感染症で注意すべきことについて、改めて考える時間となりました。

ミニコンサートは、国立成育医療研究センターPICU（小児集中治療室）で働いている壺井伯彦医師（ピアノ）と谷村聡一郎医師（ヴァイオリン）、長谷川麻未看護師（フルート）による「PICU音楽隊」の演奏でした。全てお馴染みのディズニーの曲で素敵な音色に惹き寄せられ大勢の親子連れが集まってきました。

パフォーマンスは、クラウンワンジャパンによる「クラウンと遊ぼう」でした。赤い鼻のピエロ姿で病院や高齢者施設、幼稚園や公園などを訪問し笑顔やユーモアを届ける心のケアをする道化師（クラウン）たち。集まった大人もこどもも、みんなが自然と笑顔になっていました。クラウン達のトンネルの中をこどもたちがくぐりフィナーレを迎えました。障がいのある子もない子も一緒に遊び楽しそうでした。ご来場の皆さんに感染症のことを知ってもらうと共に楽しい時間を過ごしていただけたと思います。また、財団の活動や重い病気を持つ子どもやご家族のことを知っていただく機会となりました。

財団ブースも設けて、「ファミリーフォトプロジェクト」で撮影した家族写真の紹介もさせていただきました。最後に、このイベントを開催するにあたり、会場をご提供くださったイオンレイクタウンアウトレット様に御礼申し上げます。

当日の動画は、こちらからご視聴いただけます。ぜひご覧ください。

■写真展　～“いのち”輝く～　高崎健康福祉大学

5月26日～31日、群馬県高崎市にある高崎健康福祉大学において写真展～“いのち”輝く～を開催しました。石田朋靖学長より「健康福祉を学ぶ学生たちにぜひ見てほしい」とうれしい連絡をいただき、職員皆様のご協力で実現しました。

9号館学生ホールを会場に54点の写真を展示、学生・職員の皆様はもとより、上毛新聞と群馬テレビで紹介していただき、一般市民の方にもご来場いただきました。

ご覧いただいた皆様より多くの意見・感想をいただきましたので、その中から数点を紹介いたします。

- 勉強はしていたけれど実態は知らなかったので、写真展を見ることでより考えを深めることが出来ました。
- どんなケアをしなくてはいけないのか、お出かけする時の大変さなど、普段の生活では知る機会の少ないことも学べました。
- 強く生きている姿が写真に描かれているようで、感動しました。
- 1つの写真から何か伝えてくれるものがあると感じました。
- 写真を撮る意味、残す意味を感じられました。

写真展に先立ち、看護学科2年生に小児看護学方法論の授業として、「医療的ケア児、もみじの家、財団」についてお話しする機会をいただきました。いつもの授業とは少し雰囲気の違う内容だったと思いますが、「将来保健師として精一杯支援していきたいと思った。」という力強い言葉をいただき、たいへんうれしく思いました。

■ファミリーフォト・プロジェクト撮影イベント

1月28日、NPO法人laule'a 遊びリパークリノアたまプラ（障がいのある子どもたちの支援サービス事業を行っている施設）をお借りして“ファミリーフォト・プロジェクト撮影イベント”を実施しました。この施設をお借りしての開催は2021年に続き2回目です。

降雪予報の出ている中、路面凍結によるスリップ事故の危険性も予測され、心配しましたが、雪が降ることもなく予定通り実施できました。残念ながら、体調不良による当日のキャンセルが2家族ありましたが、6家族20名の方が参加してくださいました。

会場には、写真スタジオ仕立ての白無地背景と、花いっぱいの美しい背景が準備されました。また、トランポリン、ブランコ、ハンモック、たくさんのおもちゃなどがあり、みんなで楽しみながら撮影を行うことが出来ました。

寒い中、ご参加いただきましたご家族の皆様、また会場をご提供くださり、素敵な写真を撮影してくださった安田様、ありがとうございました。

■スペシャルキッズサポーターの集い

3月12日、大阪市中央区のエル・おおさかで行われた「第7回スペシャルキッズサポーターの集い」に参加しました。スペシャルキッズ（重い病気や難病、障がいなど広い意味で課題を抱える子ども）をサポートする団体や個人が、学習・交流や情報交換する「集い」です。今回のテーマは“未来の選択肢を広げよう～スペシャルキッズがその子らしい人生を過ごせるように～” でした。

正しい知識・情報を持つことの大切さと、一人ひとりの特性を知り工夫することで子どもの世界が拡がっていくことを教えていただきました。参加者の笑顔とあたたかさが心に残る「集い」でした。

■チャリティライブ

偶数月にYouTubeでスタジオから無料生配信しています。生配信後もキッズファム財団のYouTubeチャンネルよりご視聴いただけます。

■第24回 - 12月4日

国立成育医療研究センターの3年目研修医、佐藤仁さん（ピアノ）、岡嶋貴恵さん（ヴァイオリン）、金丸ゆりさん（ビオラ）、小森園梨奈さん（アルトサックス）によるクリスマスメドレーでした。モデレーターとして、余谷暢之医師（当財団理事）と４人の指導医である益田博司医師も参加。

またスペシャルゲストとして、笠原群生院長（当財団理事）もサンタの衣装で登場し「赤鼻のトナカイ」「ジングルベル」を両医師と共に歌唱しました。笠原院長をはじめ各先生方には、日々お忙しい中ご出演いただき、ありがとうございました。

■第25回 - 2月23日

自閉症のユニット「ノブタク」（本間惟彦さん：ヴァイオリン＆小柳拓人さん：ピアノ・フルート）のとても素敵な演奏でした。「イッツアスモールワールド」「見上げてごらん夜の星を」「ウィーン風小行進曲」「チャルダーシュ」「アルハンブラの思い出」「スペイン」の演奏と、お母様方に育児中のエピソードをお話いただき、Zoom参加した視聴者からの質問に応えるコーナーもありました。

とても綺麗な音色に癒された方も多かったのでないでしょうか。「ノブタク」の今後のご活躍がますます楽しみです。心より応援しています。

■第26回 - 4月12日

工藤加寿子さん（当財団ボランティア）による「絵本の読み聞かせ」と、澤村明子さんと竹内庸子さんによる「パネルシアター」でした。絵本は「ノラネコぐんだん　きしゃぽっぽ」と「こんとあき」で優しい声に絵本の世界に引き込まれました。読み聞かせに合わせて竹内さんが即興でピアノ演奏を。汽車の走る音や汽笛の音など、絵本の場面に合わせてリズムや強弱の変化が絶妙で絵本の楽しさが倍増しました。

パネルシアターは澤村さんと竹内さんの息がぴったり。「十二支さん」「きゅうりさん」やブラックシアターの「おもちゃのチャチャチャ」などを披露してくれました。

ご家族からのお便り　「ファミリーフォト・プロジェクトに参加して」

ご家族の写真を撮影しプレゼントする“ファミリーフォト・プロジェクト”に参加いただいた吉田恵子様、桃さんよりお手紙と手作りのかわいいカードが届きました。

喜んでいただけたことをうれしく思いますとともに、お便りをくださったお二人の気持ちが伝わり、さらにうれしくなりました。本当にありがとうございます。

その時に撮影した写真とお母さまからいただいたコメントもご紹介いたします。

親ひとり子ひとりだとか、動ける医療的ケア児だとか、疾患とか障害とか合併症とか予後とか。考えても仕方のない事を次々色々考えて、気持ちが落ちてしまったりもする時もあるけれど。写真には、ただただ幸せが写っていて。お写真撮っていただいて良かったです。ありがとうございます。

英国だより（10）

喜谷　喜夫

日本ではコロナ禍も過去の事となった今年のゴールデンウィークの連休におきましては、皆様も数年ぶりの楽しい時間を過ごされたのではないでしょうか。

今年、英国では丁度同じ時期の5月6日（土）にチャールス３世新国王の戴冠式が行われました。

昨年９月に亡くなられた母エリザベス女王の1953年に行われた戴冠式以来70年ぶりに行われた戴冠式でした。英国国民の間では、これを契機として新しい時代の幕開けにしたいとの気運とも合致したのか、数カ月前からかなり盛り上がって来ておりました。

とはいえ、戴冠式主催者としては、まずは経費の問題、その他古典的儀式を如何に現代に適応させるか苦心の末、今回のチャールス３世の戴冠式パレードのルートを僅か１．３マイル（約２キロ）と前回エリザベス女王戴冠式時と比べ4分の１に縮小したと英国各メディアが報じていました。

戴冠式は前回同様ウエストミンスター寺院で英国国教会の首席聖職者であるカンタベリー大司教により執り行われました。1066年以来英国国王の戴冠式はこのウエストミンスター寺院で行われており今回のチャールス３世は40人目とのことです。

1000年以上前から続く宗教典礼と華やかな様式を組み合わせた象徴的儀式もかなり簡素化、時間短縮されました。今回からは女性聖職者が初めて参加、英国国教会以外の聖職者も参列されました。そして何より無事に、成功裏に終了いたしました。

小生は一般庶民として英国内外の方々同様、TVで拝見いたしました。その式典を観て、英国では新しい時代が始まることを実感いたしました。日本の皆様にもポストコロナ禍の新しい時代が来ることを願っております。

(写真はBBCのTV放送より)

"Nice to meet you!" 「はじめまして」

Andrew Tiernan（アンドリュー・ティエナン）

My name is Andrew Tiernan and I am very excited about my new role at KidsFam Foundation.

I hope to help raise the profile of the charity in Tokyo, increase fundraising, and establish a long-term partnership between KidsFam and Hakluyt. Also, I would like to support Momiji House through KidsFam.

I work for Hakluyt, a British strategic advisory firm since 2020. My role is to lead Hakluyt's private equity practice in Japan and Korea, as well as co-leading the company's global defence and aerospace work.

Before Hakluyt, I was in the British Army. I served in the Grenadier Guards and in special forces, and was made a Member of the British Empire (MBE) by the late Queen Elizabeth II for my service over a particularly busy four year period (2015-2019).

I live in Tokyo with my wife Dori and our three daughters Seraphina (7), Freya (5) and Viola (1). I hope to see you at future events collaborating between KidsFam and Hakluyt.

このたび、キッズファム財団の理事に就任しましたアンドリュー・ティエナンです。

今後、東京でのチャリティ活動などでファンドレイジングを増やし、長期に亘ってキッズファム財団とのパートナーシップを確立し、もみじの家もサポートしていきたいと思っています。

私は、３年前から英国のコンサルティング会社「ハクルート」の日本支社で働いています。私は日本と韓国のプライベート・エクイティ投資、およびグローバルの防衛関連の仕事をメインに担当しています。

ハクルート社に入る前は英国陸軍にいました。英国近衛歩兵連隊や特殊部隊に従事した功績（特に2014年～2019年）が認められ、エリザベス女王から、2019年MBE勲章を授与されました。

今は東京で、妻ドーリーと３人の娘、セラフィナ（７歳）、フレヤ（５歳）、ヴィオラ（１歳）と一緒に住んでいます。今後のイベントなどでお会いできることを楽しみにしています。

細谷代表理事ともみじの家にて

■ 令和４年度事業報告

1. 支援事業

1）もみじの家等短期滞在施設利用者及び家族へ支援
①施設利用料の支援（長期利用支援を含む）…支援件数153件
②ファミリーフォトプロジェクト…22件
コロナウイルス感染症収束までの間は撮影場所を借用して“撮影イベント”を実施
i）7月30日 世田谷区医療的ケア相談支援センターHi·na·ta…9家族
ii）9月3日　みくりキッズくりにっく医療型短期入所“まんまる”…7家族
iii）1月28日 NPO法人laule'a遊びリパークリノアたまプラ…6家族
③タオル無償提供…636家族（もみじの家利用全家族）
④キッズファム·カフェの実施…0回（コロナ感染症収束までは中止）
⑤チャリティライブ…6回/年（偶数月）、スタジオからの配信
第20回:4月13日　バイオリン·ピアノ·パーカッションによる演奏と歌及び絵本の読み聞かせ
第21回:6月8日 音楽とどけ隊による演奏と歌、第1回ミュージックジャンクション実施(2施設)
第22回:8月11日　クラウンワンジャパンによるパフォーマンス
第23回:10月12日 東京スクールオブミュージック専門学校渋谷の学生によるゴスペルと演奏
第24回:12月4日　国立成育医療研究センター3年目医師4名によるクリスマスソングの演奏
第25回:2月23日　ノブタク（自閉症のデュオグループ）とお母様による演奏&トーク
⑥各種イベント等への招待…コロナウイルス感染症収束までは中止
2）在宅医療ケアを必要とする子どもとその家族を支える事業を実施する団体への支援に向けた検討
①重い病気を持つ子どもと家族を支援する事業·活動を行っている施設/団体との連携
・チャリティライブや写真撮影イベントを通しての連携
世田谷区医療的ケア相談支援センターHi·na·ta、認定NPO法人朴の会、Ohanaキッズ、みくりキッズくりにっく、クラウンワンジャパン
・“そらぷちキッズフェスティバル2022秋”への参加
10月8·9日　北海道滝川市 公益財団法人そらぷちキッズキャンプ
・“ひかりのあそびば”11月27日　小金井市障害者福祉センター
・第7回スペシャルキッズサポーターの集い参加…3月12日、大阪市エルおおさか
・“ごえんなコンサート” 認定NPO法人朴の会　3月30日　自由学園　明日館
・世田谷区砧地区社会福祉協議会、きぬたまちづくりセンター“みんなの子育て広場”の実施協力 …1回/2ヵ月（6/24,8/24,10/28,12/23,2/24）
・地域福祉推進員交流会における財団活動紹介…2月7日
②医療型短期入所サービス拡充を要望する全国活動への助成
・全国医療的ケアライン（アイライン）全国フォーラム開催支援
9月18 日 東京国際フォーラムにおいて全都道府県のアイライン登録団体が参加して開催　財団事務局メンバーが運営ボランティアとして参加

2. 啓発事業

1）医療的ケア児·者と家族の主張コンクール…参加応募者2名のため中止
＊参加応募者2名の“主張”を財団ウェブサイトおよび「通信」No.12に掲載
2）写真展の開催
①国立成育医療研究センターロビー…4月1日～10月28日、12月2日～1月31日、3月10日～3月31日
②公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会東京協会主催夏季セミナー（北とぴあ さくらホール）…7月28日
③天空コンサート（豊洲シビックセンターホール）…4月7日、7月7日
④イオンレイクタウン空の広場（埼玉県越谷市）…5月7日、3月21日
⑤NHK放送技術研究所ギャラリー…8月1日～26日
⑥世田谷美術館区民ギャラリー…10月18日～23日
⑦大妻女子大学多摩キャンパス（学園祭）…10月29·30日
3）財団の活動紹介
①通信の発行 2回/年度　（6月、12月）
②ウェブサイトの活用
③SNSの活用（Facebook、Instagram等）
4）書籍「ひとすじの光」の販売及び寄贈
5）スペシャルイベントの開催…3月21日
レイクタウンアウトレット（埼玉県越谷市）における親子のためのイベント「トークショー」「ミニコンサート」「クラウンと遊ぼう」
6）国際婦人福祉協会（ILBS）における講演…11月2日 メキシコ大使館
ILBS例会で、財団の活動内容等を英語で講演

3. 募金活動

1）個人会員の継続及び新規会員獲得への働きかけ
通信送付時や各種イベント等を通じての活動
2）企業や団体への働きかけ
3）募金箱の活用
4）ウェブサイトの活用

4. 公益法人化の検討

公益法人に関する情報収集はコロナ禍により限定的に実施

5. その他

英国のコンサルティング会社「ハクルート」との提携

■ 令和５年度事業計画

1. 支援事業

1）もみじの家等短期滞在施設利用者及び家族へ支援
① 施設利用料の支援（長期利用支援を含む）
② ファミリーフォトプロジェクト
a. “もみじの家”での撮影が不可の間は他の場所での撮影イベントを実施
b. “もみじの家”での撮影許可が下りた場合は“もみじの家”でのプロジェクトを再開
③ タオル無償提供
④ キッズファム·カフェ …“もみじの家”より実施許可が下りたら再開
⑤ チャリティライブ…6回/年（偶数月）
コロナウイルス感染症の状況を見ながらスタジオからの配信、またはリアルなライブ実施
⑥ 各種イベント等への招待…コロナウイルス感染症の状況を勘案して再開を検討
2）重い病気を持つ子どもとその家族を支える事業を実施する団体への支援に向けた検討
①重い病気を持つ子どもと家族を支援する事業·活動を行っている施設·団体との連携
②重い病気を持つ子どもと家族を支援する事業·活動を行っている施設·団体への助成

2. 啓発事業

1）啓発を目的としたイベントの開催
2）写真展の開催
①国立成育医療研究センターロビー
②世田谷美術館区民ギャラリー
③NHK技研ギャラリー
④ 高崎健康福祉大学
3）財団の活動紹介
① 通信の発行 2回/年度（6月·12月）
② ウェブサイト·SNSの活用

3. 募金活動

1）個人会員の継続及び新規会員獲得への働きかけ
2）企業や団体への働きかけ
3）Tポイント募金、お宝エイド、募金箱の活用
4）ウェブサイトの活用

KidsFam

令和４年度決算報告

令和４年４月１日から令和５年３月31日まで

（単位：円）

科　目	金　額	備　考
Ⅰ．経常収益		
1．基本財産運用益	60	
2．受取会費	2,181,000	パートナー会員（10,000 x 121口） サポーター会員（3,000 x 157口） 法人会員　（100,000 x　5口）
3．受取補助金等	268,036	
4．受取寄付金	13,935,247	
5．雑収益	349,058	書籍販売、お宝エイド等
経常収益計	16,733,401	
Ⅱ．経常費用		
1．事業費	5,514,876	
1）支援事業費	3,094,012	利用料支援、チャリティーライブ等
2）啓発事業費	2,420,864	写真展、通信、ウェブサイト等
3）研修事業費	0	
2．管理費	10,409,548	
経常費用計	15,924,424	
経常外費用計	0	
当期一般正味財産増減額	808,977	
当期指定正味財産増減額	4,184	
正味財産期首残高	38,745,479	
正味財産期末残高	39,558,640	

History of KIDANI〈12〉皇后美智子さまのご来訪と喜谷の旅立ち 最終回

2018年2月16日、皇后（当時）美智子さまが「もみじの家」をご行啓されました。英国から来日する度に皇后さまにお目にかかっていた喜谷でしたし「もみじの家」のような施設を作ることは皇后さまとのお約束でもあったので、当然のことながら喜谷自身が皇后さまをご案内することを非常に楽しみにしていたのですが、持病のパーキンソン病も相まって体調が悪化しており来日が叶わない状況でした。

喜谷は英国から「もみじの家」と財団のスタッフへ、なるべく皇后さまと子どもたちが触れ合えるようにと進言しました。ご来訪当日、皇后さまは朝の会をご見学になられ、男の子の足を握られながら優しくお声をかけられ、ご両親にもねぎらいのお言葉をかけてくださいました。また当財団がダイニングルームで行っているキッズファムカフェにも立ち寄られ「ありがとう」のお言葉、そしてご家族お一人ずつの近くに来られお言葉をかけてくださいました。

財団主催のお別れの会での喜谷ファミリー

その後も喜谷は来日を希望し続けましたが叶わぬまま2019年6月12日天へと旅立ちました。直前の理事会にはオンラインで参加し理事長としての意見もしっかりと述べていましたので、関係者一同、突然の訃報を信じられないと言う思いでいっぱいでした。自宅で突然倒れ翌日息を引き取ったとのこと、享年83歳でした。

英国では7月4日にサニングデールの教会で葬儀が行われ、9月にはMOMIJIコンサートが開催されたセント・ジョンズ・スミススクエアでお別れの会が行われました。日本では10月17日に国立成育医療研究センター内のレストランつばさで当財団主催のお別れの会を開きました。翌日には高輪カトリック教会にて追悼ミサが行われ、喜谷を慕った多数の方々がご参列くださいました。皇后さまにも２日間にわたりご来訪を賜りました。

“History of KIDANI”は今号で最終回となりますが喜谷の「重い病気の子どもと家族が安心して暮らせる社会をつくりたい」という思いを受け継ぎ、今後も活動を継続してまいります。最後までお読みいただき有難うございました。

ご寄付いただいた方々ご支援有難うございます

(2022.10.1 ～ 2023.3.31)　　敬称略

芦澤 昌子/畦上 恭彦/麻生 和子/安西 恵美子/井伊 知美/池上 典子/池永 豊子/石井 恒樹/五十子 敬子/磯野 悦子/伊藤 啓子/伊藤 啓子/伊藤 雅彦/伊野 公基/今井 敦子/上田 照子/宇川 俊和/うつのみや けいぞう/江端 貴子/大西 智子/岡崎 伸/岡田 那美枝/岡部 勉/奥芝 彰子/尾鍋 正子/小野 登美子/加我 牧子/片山 成美/桂川 正克/加藤 信子/金田 永子/金本 英美/上村 恵一/香谷 有美/川瀬 英子/河村 政隆/菊地 博信/岸田 淑子/岸本 晃子/北澤 直子/鬼頭 とし子/栗原 幹雄/栗原 義和/五嶋 くみ子/児玉 桂子/児玉 美喜子/狐塚 七重/小林 京子/小峰 万木子/込田 邦子/佐藤 志保子/佐藤 マリ子/柴田 ひさ/島谷 美成・恵以子/清水 佳代子/鈴木 文子/鈴木 洋之/鈴木 牧子/鈴木 祐子/砂田 紀子/髙梨 絹代/高橋 昭彦/田川 元子/滝本 悦子/田口 秀子/竹内 みや子/田代 洋子/田中 れいか/土屋 幸子/土屋 左弥子/富田 純明/長尾 隆央・英津子/長島 日出男/中谷 芙二子/永峰 涼子/沼田 真由美/濱田 裕子/原田 京子/樋口 浩康/日髙 淑子/日比 淳子/平田 恭信/堀江 ひろ子/廣田 ゆき江/廣野 紀子/ファリーダ ラーマン/藤井 宏栄/藤井 美知代/藤枝 幹也/藤岡 康/藤田 学/藤本 篤子/古江 磨季/古屋 京子/帆足 幸子/星 由紀子/堀内 敬子/前田 浩利/増田 とも子/増田 美鶴/松尾 三枝子/松谷 明美/丸山 栄子/三浦 正充/水野 正望/村井 やよい/村木 厚子/村田 久美子/馬上 英実/森山 邦代/八鍬 瑛子/矢花 佐夜子/山川 好子/山口 栄一/山田 史郎/山羽 啓子/山本 誠一郎/山本 初子/横山 房子/吉田 明記/吉田 三恵子/吉田 陽子/善本 貞愛/喜山 雄介/和田 裕子/匿名 15名

イニシャル 9名 HI/KK/KT/KY/SK/SS/WI/YC/YS

お宝エイド　加我 牧子/吉岡 千帆子/渡辺 美佐子/匿名 １名

ご寄付いただいた企業・団体

天野エンザイム株式会社/ILBS国際福祉協会/公益社団法人程ヶ谷基金/首都開発株式会社/聖心女子大学みこころ会/聖心女子大学もゆる会/世田谷稲門会地域サポート活動部会/東京アーバンコンサルティング株式会社/日本エマージェンシーアシスタンス株式会社

＊募金箱の設置については、多くの企業・団体様にご協力いただいています。設置箇所についてはウェブサイトをご覧ください。

＊各種イベントに募金箱を置かせていただいています。

会員募集と ご寄付のお願い

★ 財団の活動は、皆様からの毎年のご寄付（年会費）によって賄われております。
★ 皆様からのご支援で、一人でも多くの「重い病気を持つ子どもたちと家族」を支えてください。
★ 会員の方には、継続的に財団通信をお送りするほか講演会等イベントのご案内を差し上げます。
★ 財団通信にて、お名前・団体名を開示させていただきます。匿名およびイニシャルをご希望の方はお手数ですが、財団事務局までメールまたはお電話にてご連絡ください。

◆ 年会費（4月1日から翌年3月31日）

① 法人会員	1口	100,000円
② パートナー会員	1口	10,000円
③ サポーター会員	1口	3,000円

※1口から何口でもお受けいたします。

◆ ご寄付
金額の多寡にかかわらず、ありがたく賜ります。
ご支援をぜひお寄せください。

口座名義
一般財団法人
重い病気を持つ子どもと家族を支える財団

1. 郵便振替
   00140-0-420461
2. 三菱UFJ銀行　成城支店
   普通 0233800
3. クレジット決済（QRコード）

★ 三菱UFJ銀行に初めてご送金いただいた方は、メールまたは電話でご氏名とご住所をご連絡願います。

ーお知らせー

★写真展「“いのち”輝く」のご案内
①2023年7月3日～26日 NHK技研ギャラリー
②同10月24日～29日 世田谷美術館区民ギャラリー
詳細は財団ウェブサイトでご案内いたします。

★Tポイント募金にご協力をお願いします。Tポイントカードをお持ちでしたら、ポイントをキッズファム財団に募金いただくことが可能です。下記のウェブサイトからお手続きいただけます。
https://tsite.jp/donation/

おかげさまで…
みなさまに愛される

街角の募金箱

国立成育医療研究センターの向かい側にある「Café Apartment183」は、いつも女性同士や親子連れでにぎわっているおしゃれなカフェレストランです。「そこで暮らす人たちの幸せを思い描き、暮らしそのものを開発すること」をビジョンとして、地元にとけ込んでいるお店です。

キッズファム財団の募金箱は6年前から設置いただき、多くのお客さまのご協力をいただいています。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

キッズファム通信No.13をお届けします。コロナ禍もようやく収束に向かい、日常の生活が戻ってきました。財団の活動もリアル開催ができるようになっていくことと思います。

3月に財団のスペシャルイベントとして、トークショー、コンサート、クラウンショーを開催しました。ご来場いただいた皆さんに楽しんでいただくだけでなく、財団の活動を知っていただけて良かったです。

本号の表紙は夏の「English Garden」をテーマに描かせていただきました。ファミリーフォト・プロジェクトにご参加いただいた皆さんにもお庭を楽しんでいただいています。（大川）

一般財団法人 重い病気を持つ子どもと家族を支える財団
（キッズファム財団）
〒157-8535
東京都世田谷区大蔵 2-10-1
国立成育医療研究センター内
TEL 03-5494-1230 Eメール zaidan@kidsfam.or.jp
URL：https://kidsfam.or.jp 「キッズファム財団」で検索ください
Foundation for Severely Ill Children and Their Families